

広域レピータ管理団体(JP7YCD)からのお知らせ

青森県広域レピータ管理団体(JP7YCD)
代表者 JH7DXJ 安齋庄次(JARL 県支部長)

平成 29 年 11 月、青森市・田茂范岳ロープウェイ山頂駅に設置されていた **1291.24Mhz のアナログ・レピータ局を廃止**しました。

また、同所に設置されている **439.22Mhz のアナログ・レピータ装置を更新**しました。昭和 61 年(1986 年)開局の際に購入・設置した機器(八重洲無線 FTR-5410)が古くなり、今後予期しない故障が考えられますので新機種の FM レピータ機「DR-1XJ」(YAESU 無線)に取替えました。同年 11 月に作業を終え、当団体が管理運営する現在稼働中の広域アナログ・レピータは 439.22Mhz だけとなります。(下表参照)

★会員からの協力金で管理運営★

このレピータ局は、JARL 直轄(免許)の広域レピータです。JARL の「開設基準及び手続き等に関する規約」に基づいて全国に開設されている「計画レピータ局」です。設置にあたり JARL から資金援助を受けず、県支部登録クラブ局や個人アマチュア局有志からの協力金により開設され、JARL の要請により当団体が維持、管理、運営を務めています。アマチュア無線局であれば誰でも利用できます。

青森県内のアナログ・レピータ局

1200Mhz	1291.24Mhz ※廃止
	1292.42Mhz(八戸市城下)
	1292.58Mhz(八戸市南郷区)
	1292.82Mhz(三戸郡階上町)
430Mhz	439.22Mhz(青森市・田茂范岳)
	439.52Mhz(八戸市城下)
	439.74Mhz(青森市第二間屋町)
	439.82Mhz(八戸市白銀町)
	439.92Mhz(三戸郡階上町)

黄色部分: 広域アナログ・レピータ

★災害時でも県内全域をカバー★

特に 439.22Mhz のレピータについては、災害時にも活用できるよう県内全域をカバー可能な八甲田山の田茂范岳ロープウェイ山頂駅に設置したいきさつがあります。また、県支部会員の皆様からの協力金は「管理運営費」として利用しています。今回の装置更新で残金が 195,023 円となりましたが、今後も管理運営委員が協力し合い広域レピータ局の維持運営に務めますので宜しくお願いします。

◀田茂范岳山頂に設置された
439.22Mhz 広域レピータ
機 DR-1XJ

YAESU ホームページに▶
紹介されている DR-1XJ



1200Mhz 帯 広域レピータ廃止にご理解ください

JARL の 1200Mhz 帯レピータ局に対する基本方針は以下のとおりでした。

- ①測位衛星システムの詳細や干渉妨害が明らかになるまでレピータの公募を差し控える。
- ②稼働状況を調べ運用実績が少ない局は廃止を求めていく。
- ③平成 29 年度(当時)までに再免許等の機会を捉えて空中線電力を 1W にしていく。

将来的には廃止方向のようすでした。

一方、本県では 1291.24Mhz レピータのアクセス、運用実績が少ない状況でした。同レピータ開局は平成 9 年(1997 年)です。機器(日本マランツ RP70KF)は老朽化していましたが稼働に問題ありませんでした。しかし、出力 1W にすると利用者ニーズに感じられなくなると考えました。

このほど JARL から空中線電力 10W を 1W に変更届を提出するよう指示がありました。その変更手続きが煩雑で、新スプリアス基準に対応するための機器測定などができない状況になりました。このため、やむを得ず 1200Mhz 帯レピータを廃止しましたのでご理解くださいますようお願いいたします。

平成 30 年 8 月